

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 脇之島公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 脇之島公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R7年度実績)÷(R3～6年度実績の平均値) 大ホール :37.7% (平均値比103.3% =37.7% ÷36.5%) 研修室1 : 22.6% (平均値比99.6% = 22.6% ÷ 22.7%) 研修室2 : 35.5% (平均値比114.9% =35.5% ÷30.9%) 和室1 :18.9% (平均値比107.4% =18.9% ÷17.6%) 和室2 : 21.3% (平均値比 99.5% = 21.3% ÷21.4%) 料理実習室 :8.2% (平均値比103.8% =8.2% ÷ 7.9%)	5点	
				平均値比(105%)=利用率(24.0%)÷22.8%(上記②適用)						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R7年度実績)÷(R3～6年度実績の平均値) 大ホール :13,455人 (平均値比 98.4% = 13,455人 ÷ 13,675人) 研修室1 :4,040人 (平均値比 119.6% =4,040人 ÷3,377人) 研修室2 :4,621人 (平均値比 139.8% = 4,621人 ÷3,305人) 和室1 :1,811人 (平均値比 109.4% =1,811人 ÷1,655人) 和室2 : 1,869人 (平均値比 104% =1,869人 ÷ 1,797人) 料理実習室 :750人 (平均値比107% =750人 ÷ 701人) 図書貸出 :5,352人 (平均値比179.9%=5,352人 ÷2,975人)	5点	
				平均値比(116%)=利用人数(延べ31,898人)÷27,485人(上記②適用)						
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P161～165 ①公民館まつり「マイタウンフェスティバル2025」(展示・ステージ部門同時開催956人) ②市の施策事業:親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業「夏休み子どもクッキング」(33人) 、たじみ健康ハッピープラン・介護予防講座「健康サロン」(605人)、「筋力アップ体操」(230人)、認知症予防講座「レッツ! 3B体操」(22人)、「筋トレ・脳トレ・笑つトレ」(29人)、認知症サポーター養成講座(9人)、イケメン健康塾(450人) ③地域意識醸成事業:「第34区区民大会童あそび」(190人)、「福祉講演会」(101人)、「ラジオ体操」(634人)、「ふれあい予防医療講座全12回」(298人)、脇之島小学校連携「公民館ってどんなところ」(2年36人)、「脳活塾の講師になったよ」(3年53人)「全国小学生ラジオ体操コンクールに挑戦しよう!」(154人)「脇小2年生じゃがいの掘り体験」(40人)	仕様書以上 13点	①公民館まつりは、これまで別日で行っていた展示・ステージ部門を同日開催にしたことでイベントが活気づき、また利用団体やまちづくり市民会議員どもスタッフが活躍するなど、世代間交流や地域の活性化につながった。 ②保健センターや高齢福祉課等と共催した健康や認知症講座には多くの参加があり、高齢者の健康意識の向上や生きがいが、活力を与える機会となった。健康寿命を延ばす取り組みで、地域の高齢化問題の打開策となっている。 ③脇之島小学校やふれあいセンターなどの地域機関と連携するにあたり、話し合いを重ねることでお互いのニーズを反映させた事業が実施でき、活発な地域交流の場として地域振興に貢献した。	13点			
			内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P166～174 ①公演会 コンサート「今年はジャズ!」(123人)、室内楽(84人)、落語会2公演(71人) ②脇之島小学校連携 ①畑で野菜を育てよう(130人) ②脳活塾の講師になったよ(53人) ③事業団連携事業 ふれあい囲碁・将棋交流会(34人) ④子ども事業「竹の器でゼリー＆ようかん」「墨すりとお抹茶」他5講座(計158人) ⑤男性講座「かんたんおせちで楽しい新年を!」(9人) ⑥料理講座「伝承料理こんにゃく編」「米粉のシフォンケーキ」「お花のおはぎ」計62人 ⑦園芸講座(45人) ⑧その他 ペン画」(12人)、3B体操(6人)、シニアのゆるらく運動他(98人)、喫茶わき ⑨サークル支援事業「バランスボール。ステンドグラス、男性ストレッチ(72人) ⑩わきのしま脳活塾 (185人) ⑪通年講座「スマイルシェイプアップ」(1080人)、女人平家(378人)、千秋萬葉(97人)、萬葉東歌84人、愛唱歌を歌おう(1,162人)、万葉旅行「奈良へ・・・長谷寺巡り」(23人) ⑫わきのしまギャラリー(21展示11,934人)	期待以上 14点	①音楽好きが多い地域性を活かし、本格的なコンサートを開催している。室内楽コンサートではお茶菓子と演奏家による解説や海外生活話を盛り込み、音楽プラスαを楽しむ場を提供することで、より音楽好きの裾野を広げ、地域に根差した事業展開ができています。 ②住宅地が立ち並ぶ地域で、脇之島小学校内で野菜作りを行うことは、子どもたちにとって新しい経験であり、また地域の人と交流をしながら、通常授業では学ぶことのできない貴重な学びの場をつくることができたのは評価が高い。 ③脳活塾や囲碁・将棋交流会など、子どもから高齢者まで参加できる事業を開催し、世代間の交流をはかった。 ④地域内の喫茶店が無くなったことを受けて公民館に地域の人が集まる場所を作ること、地域の弱点を公民館が補い、住民の需要に応えたことは、評価に値する。 ⑤利用者の少ない男性をターゲットとした講座にも力を入れ、仲間づくりや交流によって参加者が増加しており、公民館が人と人をつなぐ役割を果たしている。 ⑥人気講座を継続するほかに、お花のおはぎやくつろぎのお茶時間など新たな講座も開催しており、利用者層の拡大につながっている。	14点			
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P175 ①公民館周辺、駐車場、歩道の除草、落葉収集を毎朝実施。一斉清掃では地域と一緒に町全体の清掃に取り組んだ。 ②全館清掃では高所清掃、床ワックスなど日頃できない箇所の清掃を実施。 ③倉庫の不要品の撤去により、倉庫の有効活用につなげた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている	10点	
			②保守・点検			年次報告書P175 ①必要な設備等の保守点検を規定通り着実に実施 ②館内外の日常・定期点検や自動扉、空調の定期点検を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている		
			③保安・警備			年次報告書P176 ①開館日の保安警備や毎日の機械警備による施設管理を実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている		
			④小規模修繕			年次報告書P176 ①有償修繕 12件 487,730円	適正(普通) 2点	適正に実施されている		
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書177 ①公共施設点検マニュアルに従い毎月の日常点検、年2回の定期点検を実施。 ②清掃職員による発見。 ③気象による自然災害の被害の有無を把握。 ④毎朝の施設内外の清掃時に周辺の状況を確認し、異変の有無を把握。情報を職員間で共有。	適正(普通) 2点	適正に実施されている		

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P177 ①ファイリングシステムに基づき、担当者が基準表を見直し。共有する文書は周知漏れの無いよう掲示や回覧を利用。 ②メール等の文書は必要最小限としファイリング管理する量を抑えている。 ③来館者の目に留まりやすくポスターやチラシの掲示を工夫。チラシラックの有効活用。	適正(普通) 2点	適正に実施されている	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P177 ①毎朝の開館前の清掃活動、敷地内の樹木管理等、緑の盆栽や観葉植物の設置など心地よい環境づくりを行っている。 ②空調の適正温度による節電。外灯の点灯時刻は日の入りに合わせて設定変更。 ③ゴーヤカーテンで日差しをシャットアウト。 ④新聞紙や段ボールは地域学校の資源回収に協力。	適正(普通) 2点	適正に実施されている		
			③バリアフリー			年次報告書P177 ①高齢者の2階への昇降時に職員の見届け、荷物運搬をできる限り行った。 ②車椅子利用者にお客様目線の対応、手荷物の運搬、車椅子のタイヤを消毒するなど支援した。 ③大ホールへの入口の段差でつまづかないよう段差解消の板を設置。 ③会話が聞き取りづらい高齢者にはゆっくり丁寧に話しかける、メモで伝える等配慮	適正(普通) 2点	適正に実施されている		
			④備品管理			年次報告書P177 ①分かりやすくした写真入りの備品台帳を新たに作成。 ②経年劣化の備品を少しずつ軽量なものに買替。 ③ねじの緩みやがたつき等、日常点検を実施。 ④施設の清潔さを心がけている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている		
			⑤個人情報保護			年次報告書P177 ①個人情報に記載された書類の取扱いに注意を払っている。入手する情報は最小限にとどめ、不要な書類はシュレッダー処理。 ②講座時のカメラ撮影や広報への掲載について、全員に事前確認を実施。 ③重要書類は鍵付きのキャビネットに保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし	0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入23,098,435円÷支出24,449,796円＝95%	100%未満 3点	【参考】令和2年度96%、3年度99%、4年度102%、5年度98%、6年度92%	3点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P179 ①唯一の喫茶店が7年度に閉店し、地域住民が仲間と集える場所として「セルフ喫茶わき」を公民館に設けた。会話や読書、学習、ギャラリーの展示見学などを目的とし、地域の憩いの場となっている。 ②学習目的の方が集中できるよう新たに学習スペースを設置。また、プライバシー保護のためサロンの机の間に間仕切りを入れた。 ③自宅で不要となった人気本や最新本を公民館に寄贈してもらうことで、読書家が多い地域のニーズに応え、図書の貸し出しも大幅に増加した。 ④お客様の目線で施設内を点検し、常に清潔な施設維持に努めた。	期待以上 9点	①地域からの要望で始まった「喫茶わき」は、講座やイベントがなくても地域住民が集い、気楽に交流できる場所となり、公民館の新たな利用方法を確立したことは評価に値する。 ②学習に集中できるように1人用の机、イスを設置した学習スペースを作るなど、利用者の使いやすさやニーズを追求、反映させることにより利用者の増加や満足度の向上につながっている。 ③近くに図書館や本屋がない地域ということを把握し、地域住民の需要に応えることのできる工夫を行っている。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P180～182 ①地域との協働、交流に力を入れ、脇の島小学校の児童が活躍できる事業を開催。また地域機関との交流や意見交換により地域活性化に寄与。 ②男性向け講座の開催により、公民館へのハードルを下げ来館しやすさを伝え、事業をアピールする機会となった。 ③小学校運営協議会委員としてより良い学校運営の一翼を担っている。子どもたちの現状を知り、公民館として協力できることを考える機会となっている。 ④子ども向けの新たな講座を開講し、様々な体験の機会を提供。 ⑤通年講座の原点を振り返り、受講生の増加に努めた。 ⑥経年劣化した施設の修繕を実施。また、職員の真心の対応を心がけている。	期待以上 13点	①小学校や活性化委員会など様々な地域の機関と連携し、新たな事業や新たな利用者を作り出すことができたのは、特に少子高齢化が進む地域の課題に向き合い、真摯に行動してきた結果である。こうした活動が、子どもや高齢者等の世代間の交流を生み、郷土愛を深め、活力をもたらしており、地域振興に多大な貢献をしている。 ②公民館利用の薄い層にアプローチすることで、利用のハードルを下げ、利用しやすい施設という認識を広げている。 ③小さな事故後における速やかな防止処置や事故の未然防止により、利用しやすく快適で安全な施設運営ができています。	13点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点		
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ①他機関と連携を強化することにより子どもや高齢者など世代間をつなぐ事業や地域の課題を克服し、ニーズに応えた事業を実施しており、少子高齢化が進む地域の活性化に寄与している。 ②様々な住民の意見があるなかで、試行錯誤を繰り返しながらより良いものを目指す姿勢は評価できる。今後も利用者に寄り添った企画運営、管理を期待する。	合計87点	極めて良好